

YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2022年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1 「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2 ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) とダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) などとし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

運用報告書 (全体版)

第14期 (決算日 2021年3月22日)

第15期 (決算日 2021年6月21日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新 (リアルオージー)」は、このたび、第15期の決算を行ないました。

ここに、第14期、第15期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



Yamaguchi
Financial Group

ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
第6期末(2019年3月20日)	10,256	60	8.4	10,292	9.8	11,468	9.5	99.0	3,238
第7期末(2019年6月20日)	10,521	60	3.2	10,386	0.9	11,576	0.9	99.0	2,516
第8期末(2019年9月20日)	10,431	60	△ 0.3	10,601	2.1	11,440	△ 1.2	99.0	2,198
第9期末(2019年12月20日)	10,645	60	2.6	11,162	5.3	11,626	1.6	99.0	2,121
第10期末(2020年3月23日)	6,476	60	△38.6	6,793	△39.1	6,648	△42.8	98.9	1,251
第11期末(2020年6月22日)	9,035	60	40.4	9,545	40.5	9,395	41.3	99.0	1,799
第12期末(2020年9月23日)	9,632	60	7.3	10,018	5.0	10,316	9.8	99.0	1,938
第13期末(2020年12月21日)	10,878	60	13.6	11,820	18.0	11,838	14.7	99.0	2,122
第14期末(2021年3月22日)	10,911	60	0.9	12,834	8.6	12,131	2.5	99.0	2,136
第15期末(2021年6月21日)	11,868	60	9.3	13,872	8.1	13,485	11.2	99.0	2,151

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

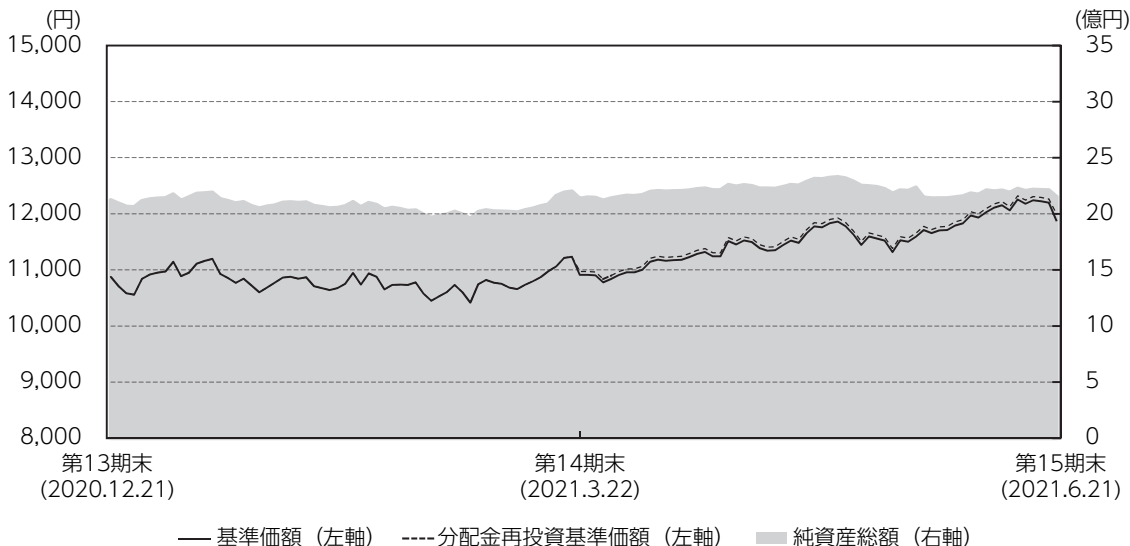
当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第14期	(期 首) 2020年12月21日	円 10,878	% -	11,820	% -	11,838	% -	% 99.0
	12月末	10,971	0.9	11,693	△ 1.1	11,860	0.2	98.9
	2021年 1 月末	10,709	△ 1.6	12,013	1.6	11,522	△ 2.7	99.0
	2 月末	10,731	△ 1.4	12,809	8.4	11,960	1.0	99.0
	(期 末) 2021年 3 月22日	10,971	0.9	12,834	8.6	12,131	2.5	99.0
第15期	(期 首) 2021年 3 月22日	10,911	-	12,834	-	12,131	-	99.0
	3 月末	10,958	0.4	12,840	0.0	12,330	1.6	99.0
	4 月末	11,482	5.2	13,386	4.3	12,851	5.9	99.0
	5 月末	11,705	7.3	13,658	6.4	13,059	7.6	99.1
	(期 末) 2021年 6 月21日	11,928	9.3	13,872	8.1	13,485	11.2	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第14期首：10,878円

第15期末：11,868円 (既払分配金120円)

騰落率：10.3% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働きました。新型コロナウイルスのワクチン接種が徐々に進む中、経済活動の正常化への期待感が高まり、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は上昇しました。また、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから投資家のリスク選好姿勢が強まり、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したこともプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

当作成期首から2021年2月にかけては、軟調な展開になりました。2021年1月には、米国で民主党が上下両院ともに制したことなどから財政拡大への期待が高まり、長期金利は上昇傾向となりました。2月は、米国においてバイデン新政権の経済対策やワクチンの普及による経済活動の正常化への期待感などを背景に、長期金利は上昇しました。オーストラリアにおいても米国の長期金利につられる形で長期金利が上昇し、リートやインフラ銘柄は軟調な展開となりましたが、3月から4月にかけては、上昇傾向となりました。オーストラリアでは、RBA（オーストラリア準備銀行）が量的緩和策を実施したことや米国で長期金利上昇に不服感が見られたことなどから、長期金利がおおむね横ばいでの推移となり、金利急上昇への警戒感が後退したことでリートやインフラ銘柄は堅調な推移となりました。その後5月半ばには、鉄鉱石や木材などコモディティ価格が上昇したことや、米国の消費者物価指数が市場予想を上回る上昇となったことなどからインフレへの懸念が高まり、下落する局面もありましたが、当作成期末にかけて、経済活動の正常化への期待感などから上昇基調となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替市況

当作成期首から2021年2月にかけては、中国の堅調な需要と供給への懸念などから鉄鉱石価格が上昇したことや、世界的な景気回復を背景に投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。3月から当作成期末にかけては、それまで拡大してきた中国を中心とする新興国経済への期待感が後退する中、オーストラリア・ドルは対円で上値の重い展開となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、オーストラリアで保育施設や医療関連施設を保有・運営するARENA REIT（不動産）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）などを高位に組み入れました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）

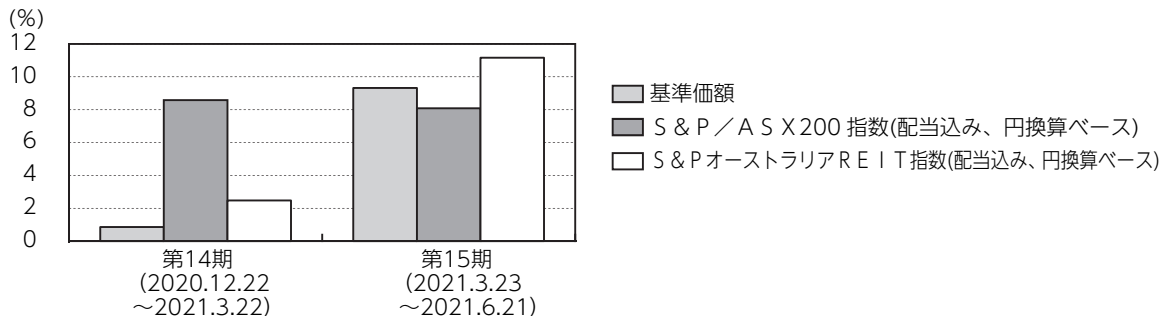
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & PオーストラリアREIT指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第14期は60円、第15期は60円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
	2020年12月22日 ~2021年3月22日	2021年3月23日 ~2021年6月21日
当期分配金（税込み）（円）	60	60
対基準価額比率（%）	0.55	0.50
当期の収益（円）	60	60
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	1,351	2,194

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	194.63円	492.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	399.60
(c) 収益調整金	269.84	333.47
(d) 分配準備積立金	947.50	1,029.12
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,411.97	2,254.21
(f) 分配金	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,351.97	2,194.21

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資することがあります。

1 万口当りの費用の明細

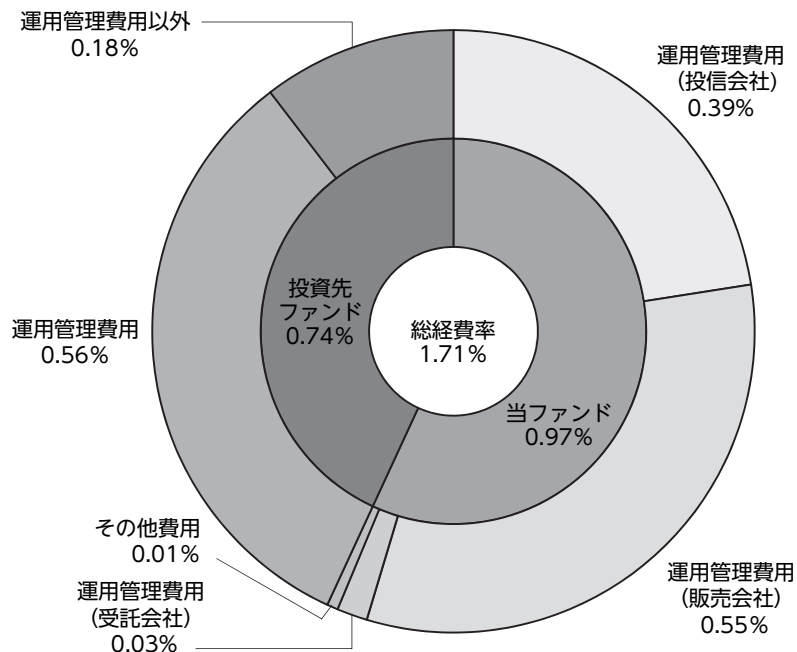
項 目	第14期～第15期 (2020年12月22日～2021年6月21日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	信託報酬	54円	
（投信会社）	(21)	(0.192)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(31)	(0.274)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	54	0.485	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



総経費率 (①+②+③)	1.71%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年12月22日から2021年6月21日まで)

決算期		第14期～第15期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
国	オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	303,940.782	325,000	347,504.196	376,000
内	ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
国内投資信託受益証券

銘柄	第15期末			
	口数	評価額	比率	
		千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	1,918,601.389	2,128,688		
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,103.11	1,096		
合計	金 額 1,919,704.499	2,129,784		
	銘柄数 < 比率 >	2銘柄		< 99.0% >

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月21日現在

項目	第15期末		
	評価額	比率	
		千円	%
投資信託受益証券	2,129,784	98.2	
コール・ローン等、その他	38,870	1.8	
投資信託財産総額	2,168,655	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年3月22日)、(2021年6月21日)現在

項目	第14期末	第15期末
(A) 資産	2,155,928,420円	2,168,655,016円
コール・ローン等	33,546,656	29,870,174
投資信託受益証券(評価額)	2,115,381,764	2,129,784,842
未収入金	7,000,000	9,000,000
(B) 負債	19,149,809	16,899,738
未払収益分配金	11,750,459	10,878,075
未払解約金	2,347,880	646,754
未払信託報酬	4,994,432	5,314,215
その他未払費用	57,038	60,694
(C) 純資産総額(A-B)	2,136,778,611	2,151,755,278
元本	1,958,409,987	1,813,012,652
次期繰越損益金	178,368,624	338,742,626
(D) 受益権総口数	1,958,409,987口	1,813,012,652口
1万円当り基準価額(C/D)	10,911円	11,868円

(注) 元本状況

期首元本額	1,951,222,215円	1,958,409,987円
追加設定元本額	151,449,586円	96,306,101円
一部解約元本額	144,261,814円	241,703,436円

■損益の状況

第14期 自 2020年12月22日 至 2021年3月22日

第15期 自 2021年3月23日 至 2021年6月21日

項目	第14期	第15期
(A) 配当等収益	43,169,209円	91,879,206円
受取配当金	43,173,000	91,883,271
受取利息	60	56
支払利息	△ 3,851	△ 4,121
(B) 有価証券売買損益	△ 20,034,155	92,786,975
売買益	2,729,203	100,278,150
売買損	△ 22,763,358	△ 7,491,175
(C) 信託報酬等	△ 5,051,470	△ 5,374,909
(D) 当期損益金(A+B+C)	18,083,584	179,291,272
(E) 前期繰越損益金	185,559,136	168,941,322
(F) 追加信託差損益金	△ 13,523,637	1,388,107
(配当等相当額)	(52,845,315)	(60,457,685)
(売買損益相当額)	(△ 66,368,952)	(△ 59,069,578)
(G) 合計(D+E+F)	190,119,083	349,620,701
(H) 収益分配金	△ 11,750,459	△ 10,878,075
次期繰越損益金(G+H)	178,368,624	338,742,626
追加信託差損益金	△ 13,523,637	1,388,107
(配当等相当額)	(52,845,315)	(60,457,685)
(売買損益相当額)	(△ 66,368,952)	(△ 59,069,578)
分配準備積立金	211,926,416	337,354,519
繰越損益金	△ 20,034,155	-

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 14 期	第 15 期
(a) 経費控除後の配当等収益	38,117,739円	89,205,189円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	72,448,078円
(c) 収益調整金	52,845,315円	60,457,685円
(d) 分配準備積立金	185,559,136円	186,579,327円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	276,522,190円	408,690,279円
(f) 1万口当り当期分配対象額	1,411.97円	2,254.21円
(g) 分配金	11,750,459円	10,878,075円
(h) 1万口当り分配金	60円	60円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 14 期	第 15 期
1万口当り分配金（税引前）	60円	60円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

お知らせ

○該当事項はありません。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版)

第14期 (決算日 2021年2月15日)

第15期 (決算日 2021年5月17日)

(作成対象期間 2020年11月17日~2021年5月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X200指数 (配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
6期末 (2019年2月15日)	9,895	90	3.4	10,060	0.7	11,252	5.4	19.7	-	78.0	3,554
7期末 (2019年5月15日)	10,119	230	4.6	10,181	1.2	11,276	0.2	22.0	-	76.3	2,524
8期末 (2019年8月15日)	10,212	160	2.5	10,237	0.6	11,645	3.3	21.6	-	74.6	2,116
9期末 (2019年11月15日)	10,277	160	2.2	10,924	6.7	11,910	2.3	19.8	-	77.5	2,079
10期末 (2020年2月17日)	10,893	140	7.4	11,583	6.0	12,808	7.5	18.9	-	79.5	2,116
11期末 (2020年5月15日)	7,541	90	△29.9	8,258	△28.7	8,010	△37.5	21.0	-	77.4	1,493
12期末 (2020年8月17日)	9,023	70	20.6	10,494	27.1	10,158	26.8	18.0	-	80.3	1,804
13期末 (2020年11月16日)	10,223	100	14.4	11,054	5.3	11,555	13.8	19.9	-	79.3	2,044
14期末 (2021年2月15日)	10,358	230	3.6	12,590	13.9	12,095	4.7	17.8	-	81.0	1,990
15期末 (2021年5月17日)	10,783	500	8.9	13,703	8.8	13,304	10.0	18.4	-	80.7	2,156

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

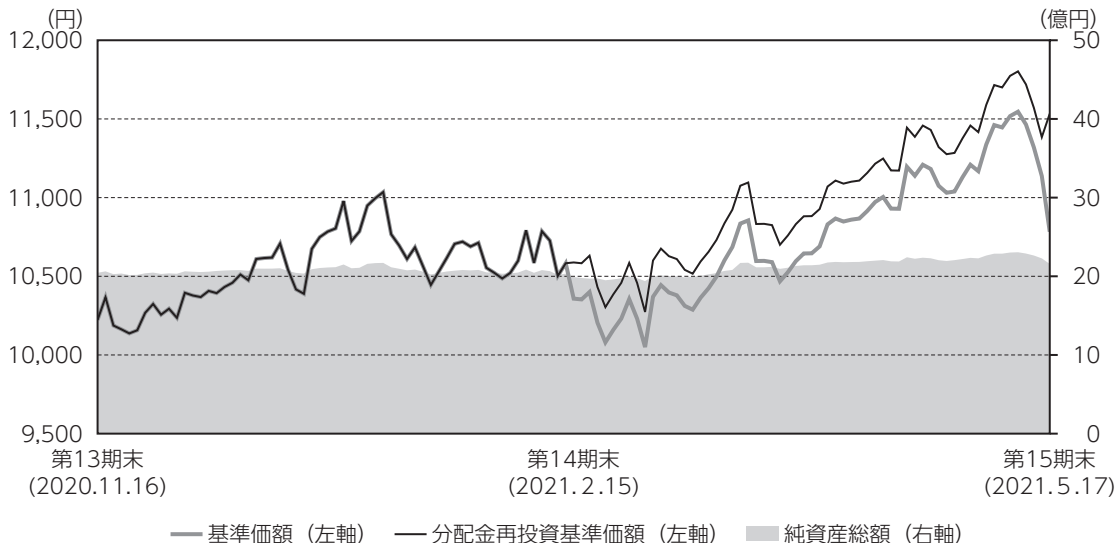
(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第14期首：10,223円

第15期末：10,783円（既払分配金730円）

騰落率：12.8%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄はおおむね横ばいでの推移となりましたが、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
第14期	(期首)2020年11月16日	円 10,223	% -	11,054	% -	11,555	% -	% 19.9	% -	% 79.3
	11月末	10,294	0.7	11,488	3.9	11,820	2.3	19.4	-	79.7
	12月末	10,978	7.4	11,956	8.2	12,339	6.8	19.9	-	79.3
	1月末	10,522	2.9	12,068	9.2	11,877	2.8	19.6	-	78.5
	(期末)2021年2月15日	10,588	3.6	12,590	13.9	12,095	4.7	17.8	-	81.0
第15期	(期首)2021年2月15日	10,358	-	12,590	-	12,095	-	17.8	-	81.0
	2月末	10,230	△1.2	12,957	2.9	12,173	0.6	17.3	-	80.5
	3月末	10,690	3.2	13,027	3.5	12,735	5.3	17.7	-	78.8
	4月末	11,338	9.5	13,758	9.3	13,435	11.1	17.4	-	80.4
	(期末)2021年5月17日	11,283	8.9	13,703	8.8	13,304	10.0	18.4	-	80.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.11.17~2021.5.17)

■ オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は、おおむね横ばいで推移しました。

当作成期首から2020年12月にかけてのオーストラリア・リアルアセット市況は、おおむね横ばいで推移となりました。米国や英国などで新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるなど、医学的な解決に向けた取り組みが進みましたが、多くの国で感染の拡大が続いたことや感染力の強い変異ウイルスが発生したことに対する懸念などから、リートやインフラ関連銘柄は上値の重い展開となりました。比較的感染が落ち着いていたオーストラリアでもシドニーでクラスターが発生し、リスク回避の動きなどから一時下落する局面が見られました。2021年1月から2月にかけては、軟調な展開となりました。

1月には、米国で民主党が上下両院ともに制したことなどから財政拡大への期待が高まり、長期金利は上昇傾向となりました。2月は、米国においてバイデン新政権の経済対策への期待感や、ワクチンの普及による経済活動再開への期待感などを背景に、長期金利が上昇しました。オーストラリアにおいても米国の長期金利につられる形で長期金利が上昇し、リートやインフラ銘柄は軟調な展開となりました。3月から当作成期末にかけて、オーストラリアでは、RBA（オーストラリア準備銀行）が量的緩和策を実施したことや米国で長期金利上昇に一服感が見られたことなどから、長期金利がおおむね横ばいで推移となり、結果、金利急上昇への警戒感が後退し、リートやインフラ銘柄は堅調な推移となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■ 為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2021年2月にかけては、中国の堅調な需要と供給への懸念などから鉄鉱石価格が上昇したことや、世界的な景気回復を背景に投資家のリスク選好が強まったことなどから、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。3月から当作成期末にかけては、これまで拡大してきた中国を中心とする新興国経済への期待感が後退する中、オーストラリア・ドルは対円で上値の重い展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2020.11.17～2021.5.17)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

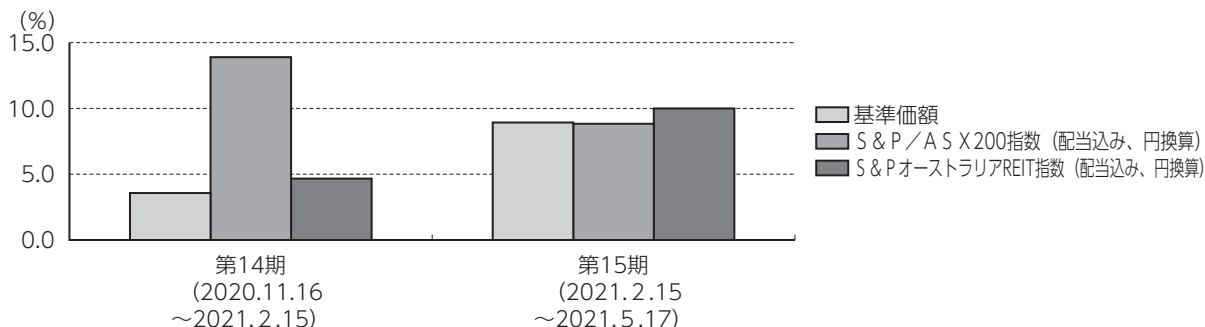
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、オーストラリアで保育施設や医療関連施設を保有・運営するARENA REIT（不動産）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配金資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
	2020年11月17日 ～2021年2月15日	2021年2月16日 ～2021年5月17日
当期分配金（税込み）（円）	230	500
対基準価額比率（％）	2.17	4.43
当期の収益（円）	80	490
当期の収益以外（円）	150	10
翌期繰越分配対象額（円）	649	925

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 90.91円	✓ 99.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	✓ 673.30
(c) 収益調整金	125.02	169.29
(d) 分配準備積立金	✓ 663.08	✓ 483.75
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	879.02	1,425.63
(f) 分配金	230.00	500.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	649.02	925.63

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

1万口当りの費用の明細

項 目	第14期～第15期 (2020.11.17～2021.5.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0.282%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,664円です。
(投 信 会 社)	(28)	(0.263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.041	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.018)	
(投資信託証券)	(2)	(0.023)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	10	0.090	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(8)	(0.071)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	44	0.413	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2020年11月17日から2021年5月17日まで)

決算期	第14期～第15期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	158,625	226,240	259,968	376,472

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年11月17日から2021年5月17日まで)

項目	第14期～第15期	
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	159,768千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	392,506千円	
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.40	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第13期末		第15期末	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,506,827	1,405,484	2,152,920	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年5月17日現在

項目	第15期末	
	評価額	比率
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	2,152,920	95.3
コール・ローン等、その他	107,070	4.7
投資信託財産総額	2,259,990	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=84.96円、1ニュージーランド・ドル=79.13円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第15期末における外貨建純資産(2,165,407千円)の投資信託財産総額(2,171,593千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年2月15日)、(2021年5月17日)現在

項目	第14期末	第15期末
(A) 資産	2,037,587,458円	2,259,990,749円
コール・ローン等	51,163,972	107,070,323
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	1,986,423,486	2,152,920,426
(B) 負債	47,153,499	103,084,992
未払収益分配金	44,196,766	100,012,271
未払信託報酬	2,928,350	3,015,112
その他未払費用	28,383	57,609
(C) 純資産総額(A-B)	1,990,433,959	2,156,905,757
元本	1,921,598,543	2,000,245,427
次期繰越損益金	68,835,416	156,660,330
(D) 受益権総口数	1,921,598,543口	2,000,245,427口
1万口当り基準価額(C/D)	10,358円	10,783円

*第13期末における元本額は1,999,617,067円、当作成期間(第14期～第15期)中における追加設定元本額は220,244,452円、同解約元本額は219,616,092円です。

*第15期末の計算口数当りの純資産額は10,783円です。

■損益の状況

第14期 自2020年11月17日 至2021年2月15日
 第15期 自2021年2月16日 至2021年5月17日

項 目	第 14 期	第 15 期
(A) 配当等収益	△ 292円	△ 235円
受取利息	24	—
支払利息	△ 316	△ 235
(B) 有価証券売買損益	71,452,632	184,209,523
売買益	75,675,020	187,010,457
売買損	△ 4,222,388	△ 2,800,934
(C) 信託報酬等	△ 2,956,733	△ 3,044,350
(D) 当期損益金(A + B + C)	68,495,607	181,164,938
(E) 前期繰越損益金	48,682,536	70,134,433
(F) 追加信託差損益金	△ 4,145,961	5,373,230
(配当等相当額)	(24,024,630)	(33,862,804)
(売買損益相当額)	(△ 28,170,591)	(△ 28,489,574)
(G) 合計(D + E + F)	113,032,182	256,672,601
(H) 収益分配金	△ 44,196,766	△100,012,271
次期繰越損益金(G + H)	68,835,416	156,660,330
追加信託差損益金	△ 4,145,961	5,373,230
(配当等相当額)	(24,024,630)	(33,862,804)
(売買損益相当額)	(△ 28,170,591)	(△ 28,489,574)
分配準備積立金	100,691,556	151,287,100
繰越損益金	△ 27,710,179	—

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 14 期	第 15 期
(a) 経費控除後の配当等収益	17,470,476円	19,858,344円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	134,677,369
(c) 収益調整金	24,024,630	33,862,804
(d) 分配準備積立金	127,417,846	96,763,658
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	168,912,952	285,162,175
(f) 分配金	44,196,766	100,012,271
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	124,716,186	185,149,904
(h) 受益権総口数	1,921,598,543口	2,000,245,427口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 14 期	第 15 期
1万口当り分配金	230円	500円

<補足情報>

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2021年2月3日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第15期の決算日（2021年5月17日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2020年11月17日から2021年5月17日まで)

買				売			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ATLAS ARTERIA (オーストラリア)	80	39,535	494	AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	48	45,888	956
INFRATIL LTD (ニュージーランド)	36	20,407	566	GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)	70	20,093	287
				MERIDIAN ENERGY LTD (ニュージーランド)	19	11,431	601
				CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)	14	11,229	802
				AUSNET SERVICES (オーストラリア)	70	11,182	159

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2020年11月17日から2021年5月17日まで)

買				売			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
ABACUS PROPERTY GROUP (オーストラリア)	150	34,751	231	SPARK INFRASTRUCTURE GROUP (オーストラリア)	210	37,470	178
CENTURIA CAPITAL GROUP (オーストラリア)	50	11,285	225	GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR (オーストラリア)	84	26,326	313
NATIONAL STORAGE REIT (オーストラリア)	70	10,807	154	SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)	44	20,969	476
ARENA REIT (オーストラリア)	40	9,182	229	STOCKLAND (オーストラリア)	40	15,547	388
				CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)	60	14,669	244
				ARENA REIT (オーストラリア)	39	11,273	289
				SCENTRE GROUP (オーストラリア)	45	9,986	221
				CENTURIA OFFICE REIT (オーストラリア)	60	9,724	162

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2021年5月17日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（1,417,654千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘柄	株数	2021年5月17日現在		業種等
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	千オーストラリア・ドル	千円	
AUSNET SERVICES	1,459.35	262	22,317	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,937.28	1,204	102,375	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,396.63 2銘柄	1,467 < 5.7%>	
(ニュージーランド)	百株	千ニュージーランド・ドル	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	1,250	657	52,027	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	189	15,007	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	2,374.72	835	66,144	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	96	7,646	公益事業
INFRATIL LTD	620	447	35,421	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	1,660	1,254	99,304	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	6,310.72 6銘柄	3,482 <12.7%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	9,707.35 8銘柄	— <18.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2021年5月17日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	口数	2021年5月17日現在	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千オーストラリア・ドル	千円
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	215.222	708	60,158
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	125	10,636
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	60.517	210	17,892
AVENTUS GROUP	151.151	432	36,727
RURAL FUNDS GROUP	182.277	437	37,167
WAYPOINT REIT	31.797	81	6,915
CHARTER HALL LONG WALE REIT	87.699	424	36,062
CENTURIA OFFICE REIT	116.445	256	21,764
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	13	68	5,842
CENTURIA CAPITAL GROUP	50	135	11,512
TRANSURBAN GROUP	150.572	2,108	179,096
SYDNEY AIRPORT	44	250	21,307
APA GROUP	138.847	1,341	113,953
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	0.866	1	161
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	203.153	491	41,768
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	174.919	652	55,431
NATIONAL STORAGE REIT	209.577	421	35,789
APN INDUSTRIA REIT	37.348	116	9,868
SCENTRE GROUP	338	905	76,960
ARENA REIT	400.108	1,320	112,177
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	66.46	209	17,786
DEXUS	131	1,337	113,634
GPT GROUP	150.7	694	59,024
CHARTER HALL RETAIL REIT	30.601	112	9,541
MIRVAC GROUP	479	1,312	111,506
STOCKLAND	247.055	1,141	96,972
ABACUS PROPERTY GROUP	150	444	37,722
GOODMAN GROUP	116.6	2,187	185,842
VICINITY CENTRES	153	234	19,888
CHARTER HALL GROUP	159	2,159	183,447
INGENIA COMMUNITIES GROUP	40.244	220	18,736
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,472.234 31銘柄	20,542 <80.4%>
(ニュージーランド)	千口	千ニュージーランド・ドル	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	72	5,716
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	47	3,738
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	119 < 0.4%>
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,552.206 33銘柄	— <80.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、2021年5月17日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2021年2月3日）

（作成対象期間 2020年8月4日～2021年2月3日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

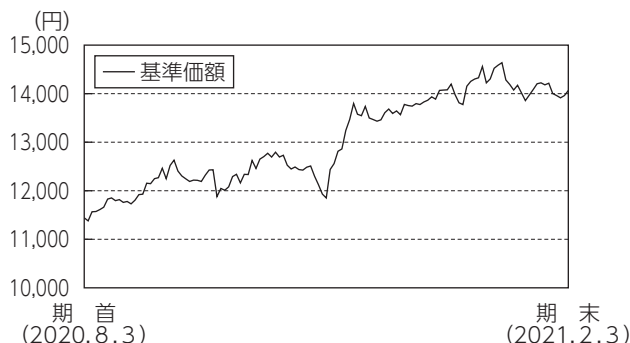
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算)		S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 券 率
	円	%	(参考指数)	%	(参考指数)	%			
(期首)2020年 8 月 3 日	11,442	—	12,539	—	10,062	—	18.8	—	79.5
8 月末	12,269	7.2	13,220	5.4	10,989	9.2	18.3	—	79.3
9 月末	12,339	7.8	12,682	1.1	10,934	8.7	17.4	—	79.0
10 月末	11,931	4.3	12,378	△ 1.3	10,467	4.0	18.6	—	79.0
11 月末	13,644	19.2	14,363	14.6	12,355	22.8	19.4	—	79.9
12 月末	14,559	27.2	14,948	19.2	12,897	28.2	19.9	—	79.5
2021年 1 月末	13,961	22.0	15,088	20.3	12,415	23.4	19.6	—	78.7
(期末)2021年 2 月 3 日	14,065	22.9	15,308	22.1	12,417	23.4	19.7	—	79.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,442円 期末：14,065円 騰落率：22.9%

【基準価額の主な変動要因】

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が上昇したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。オーストラリアでの新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きつつある中、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感や中央銀行による金融緩和と政策への期待感などから、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は上昇しました。また、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから投資家のリスク選好姿勢が強まり、オーストラリア・ドルが対円で上昇 (円安) したこともプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ オーストラリア・リアルアセット (※) 市況

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄は上昇しました。

当作成期首から2020年10月前半にかけてのオーストラリア・リアルアセット市況は、オーストラリアでの新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた状態だったことやオーストラリアの長期金利が下落傾向となったこと、また財政刺激策への期待感や R B A (オーストラリア準備銀行) による追加緩和観測などから上昇しました。10月後半は、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大および広範な行動制限措置の再施行などから世界経済停滞の懸念が広がり、下落しました。その後は当作成期末にかけて、米国の大統領選挙が大きな波乱なく終了したことや、米国大手製薬会社が新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果を得られたと発表したことなどを好感して、リートやインフラ関連銘柄は上昇しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、当作成期首から2020年8月末にかけては、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから、オーストラリア・ドルへの選好が強まり、上昇しました。9月から10月にかけては、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や米国大統領選挙を前にしたリスク調整の動きなどから、対円で下落（円高）しました。その後は当作成期末にかけて、新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が発表されて投資家のリスク選好姿勢が強まったことや、中国の堅調な需要および供給への懸念などから鉄鉱石価格が上昇したことなどを受けて、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

◆ポートフォリオについて

傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	4円
(株式)	(2)
(投資信託証券)	(2)
有価証券取引税	—
その他費用	11
(保管費用)	(2)
(その他)	(9)
合計	15

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2020年8月4日から2021年2月3日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		190 (54.63)	243 (9)	280	354
国	ニュージーランド	百株	千ニュージーランド・ドル	百株	千ニュージーランド・ドル
		440 (—)	275 (—)	850	567

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2020年8月4日から2021年2月3日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
		208 (76.127)	621 (115)	250.131 (—)	1,003 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2020年8月4日から2021年2月3日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	柄	株数	金額	平均単価	銘柄	柄	株数	金額	平均単価
INFRATIL LTD (ニュージーランド)		千株	千円	円	AGL ENERGY LTD (オーストラリア)		千株	千円	円
		44	20,384	463	CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)		28	27,682	988
AGL ENERGY LTD (オーストラリア)		19	18,739	986	MERIDIAN ENERGY LTD (ニュージーランド)		31	20,896	674
					GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)		19	11,431	601
							35	9,916	283

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2020年8月4日から2021年2月3日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄	柄	口数	金額	平均単価
ARENA REIT (オーストラリア)		千口	千円	円	GOODMAN GROUP (オーストラリア)		千口	千円	円
		90	19,004	211	SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)		15.5	21,967	1,417
CHARTER HALL LONG WALE REIT (オーストラリア)		30	11,151	371	CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)		44	19,949	453
NATIONAL STORAGE REIT (オーストラリア)		70	10,807	154	SCENTRE GROUP (オーストラリア)		60	14,669	244
INGENIA COMMUNITIES GROUP (オーストラリア)		18	6,566	364	CENTURIA OFFICE REIT (オーストラリア)		45	9,986	221
					SYDNEY AIRPORT-RIGHTS (オーストラリア)		60	9,724	162
							25.631	1,723	67

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円		
AUSNET SERVICES	2,104.72	2,159.35	375	30,016	公益事業	
AGL ENERGY LTD	290	200	231	18,486	公益事業	
ATLAS ARTERIA	1,137.28	1,137.28	710	56,785	貴族・サービス	
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,532 3銘柄	3,496.63 3銘柄	1,317 < 5.1%>	105,289	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円		
MERIDIAN ENERGY LTD	1,440	1,250	887	67,139	公益事業	
MERCURY NZ LTD	290	290	207	15,664	公益事業	
GENESIS ENERGY LTD	3,074.72	2,724.72	1,057	79,976	公益事業	
TRUSTPOWER LTD	116	116	101	7,704	公益事業	
INFRAIL LTD	-	440	326	24,731	公益事業	
CONTACT ENERGY LTD	1,970	1,660	1,396	105,611	公益事業	
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	6,890.72 5銘柄	6,480.72 6銘柄	3,976 <14.6%>	300,828	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	10,422.72 8銘柄	9,977.35 9銘柄	- <19.7%>	406,117	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	207.125	212.457	660	52,786
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	143.076	118	9,430
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	117.208	60.517	185	14,794
AVENTUS GROUP	146.267	148.767	406	32,446
RURAL FUNDS GROUP	175.897	180.088	450	35,968
WAYPOINT REIT	31.797	31.797	81	6,477
CHARTER HALL LONG WALE REIT	53.341	84.997	391	31,303
CENTURIA OFFICE REIT	176.445	116.445	224	17,907
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	13	13	66	5,327
TRANSURBAN GROUP	148.862	148.862	2,037	162,809
SYDNEY AIRPORT	132	88	513	40,986
APA GROUP	138.847	138.847	1,359	108,595
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	197.551	204.245	445	35,571
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	194.071	203.153	483	38,627
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	258.919	258.919	838	67,019
NATIONAL STORAGE REIT	132.651	205.164	391	31,305
APN INDUSTRIA REIT	37.348	37.348	109	8,742
SCENTRE GROUP	383	338	932	74,527
ARENA REIT	324.066	428.899	1,252	100,053
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	66.46	66.46	205	16,406
DEXUS	131	131	1,159	92,620
GPT GROUP	150.7	150.7	648	51,769

銘柄	期首		期末		
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
CHARTER HALL RETAIL REIT	千口	千口	千円	千円	
MIRVAC GROUP	29.697	29.697	106	8,517	
STOCKLAND	479	479	1,163	92,989	
GOODMAN GROUP	287.055	287.055	1,294	103,427	
VICINITY CENTRES	132.1	116.6	2,103	168,045	
CHARTER HALL GROUP	153	153	236	18,884	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	159	159	2,200	175,802	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	21.448	39.834	208	16,643	
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,620.931 29銘柄	4,654.927 29銘柄	20,275 <78.7%>	1,619,788
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円	
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	76	5,777	
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	46	3,542	
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	79.972 2銘柄	123 < 0.5%>	9,319
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,700.903 31銘柄	4,734.899 31銘柄	- <79.1%>	1,629,108

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年2月3日現在

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
投資信託証券	406,117	19.7
コールド・ローン等、その他	1,629,108	78.9
投資信託財産総額	30,771	1.4
投資信託財産総額	2,065,996	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月3日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=79.89円、1ニュージーランド・ドル=75.65円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,051,335千円)の投資信託財産総額(2,065,996千円)に対する比率は、99.3%です。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年2月3日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,065,996,567円
コール・ローン等	17,957,727
株式(評価額)	406,117,409
投資信託証券(評価額)	1,629,108,047
未収配当金	12,813,384
(B) 負債	7,000,000
未払解約金	7,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	2,058,996,567
元本	1,463,880,352
次期繰越損益金	595,116,215
(D) 受益権総口数	1,463,880,352口
1万口当り基準価額(C/D)	14,065円

*期首における元本額は1,530,875,198円、当作成期間中における追加設定元本額は142,194,739円、同解約元本額は209,189,585円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド(適格機関投資家専用)1,453,013,611円、オーストラリア・リアルアセット・ファンド10,866,741円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は14,065円です。

■損益の状況

当期 自2020年8月4日 至2021年2月3日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	38,547,804円
受取配当金	38,550,362
受取利息	110
支払利息	△ 2,668
(B) 有価証券売買損益	362,042,495
売買益	396,758,636
売買損	△ 34,716,141
(C) その他費用	△ 1,693,619
(D) 当期損益金(A + B + C)	398,896,680
(E) 前期繰越損益金	220,800,582
(F) 解約差損益金	△ 64,793,687
(G) 追加信託差損益金	40,212,640
(H) 合計(D + E + F + G)	595,116,215
次期繰越損益金(H)	595,116,215

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ・マネー ポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版) 第4期

(決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日~2020年12月9日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券 ロ、円建ての債券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込 配 金	期 騰 落 中 率			
1期末（2017年12月11日）	円 9,991	円 0	% △0.1	% -	% -	百万円 0
2期末（2018年12月10日）	9,963	0	△0.3	-	-	1
3期末（2019年12月9日）	9,952	0	△0.1	-	-	1
4期末（2020年12月9日）	9,943	0	△0.1	-	-	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

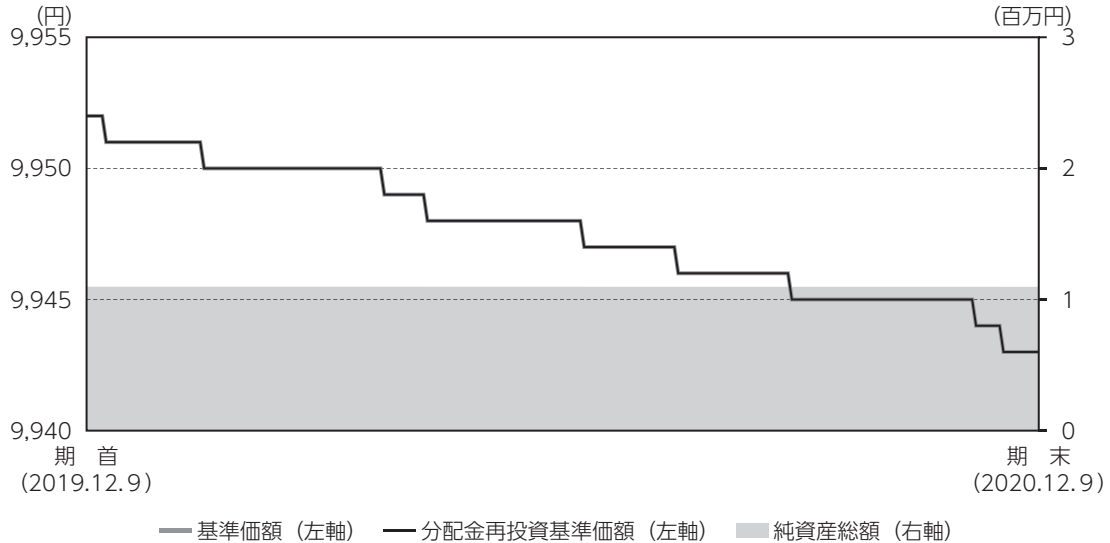
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,952円

期末：9,943円 (分配金0円)

騰落率：△0.1% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2019年12月9日	円 9,952	% -	% -	% -
12月末	9,951	△0.0	-	-
2020年 1 月末	9,950	△0.0	-	-
2 月末	9,950	△0.0	-	-
3 月末	9,950	△0.0	-	-
4 月末	9,948	△0.0	-	-
5 月末	9,948	△0.0	-	-
6 月末	9,947	△0.1	-	-
7 月末	9,946	△0.1	-	-
8 月末	9,946	△0.1	-	-
9 月末	9,945	△0.1	-	-
10月末	9,945	△0.1	-	-
11月末	9,943	△0.1	-	-
(期末) 2020年12月9日	9,943	△0.1	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.12.10～2020.12.9)

■国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.12.10～2020.12.9)

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年12月10日 ～2020年12月9日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019.12.10~2020.12.9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	一円	—%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,948円です。
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0.035	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	4	0.035	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	□ 数
	千口	千口	千口	千口
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1,089	1,089	1,092	1,092

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1,092	99.6
コール・ローン等、その他	4	0.4
投資信託財産総額	1,097	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,097,037円
コール・ローン等	4,783
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,092,254
(B) 負債	183
その他未払費用	183
(C) 純資産総額(A - B)	1,096,854
元本	1,103,110
次期繰越損益金	△ 6,256
(D) 受益権総口数	1,103,110口
1万口当り基準価額(C/D)	9,943円

*期首における元本額は1,103,110円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,943円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,256円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 544円
売買損	△ 544
(B) 信託報酬等	△ 366
(C) 当期損益金(A + B)	△ 910
(D) 前期繰越損益金	△2,236
(E) 追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
(F) 合計(C + D + E)	△6,256
次期繰越損益金(F)	△6,256
追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
繰越損益金	△3,146

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	1,103,110口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第12期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

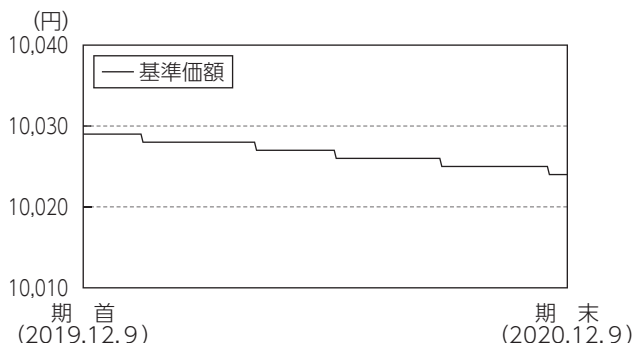
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率	
(期首)2019年12月9日	10,029	-	-
12月末	10,029	0.0	-
2020年1月末	10,028	△0.0	-
2月末	10,028	△0.0	-
3月末	10,028	△0.0	-
4月末	10,027	△0.0	-
5月末	10,027	△0.0	-
6月末	10,026	△0.0	-
7月末	10,026	△0.0	-
8月末	10,026	△0.0	-
9月末	10,025	△0.0	-
10月末	10,025	△0.0	-
11月末	10,024	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,024	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,029円 期末：10,024円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 73,499,280	% 100.0
投資信託財産総額	73,499,280	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	73,499,280,005円
コール・ローン等	73,499,280,005
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	73,499,280,005
元本	73,320,433,569
次期繰越損益金	178,846,436
(D) 受益権総口数	73,320,433,569口
1万口当り基準価額(C/D)	10,024円

*期首における元本額は38,285,006,118円、当作成期間中における追加設定元本額は92,065,519,457円、同解約元本額は57,030,092,006円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド (適格機関投資家専用) 7,165,012,965円、ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用) 12,332,468,365円、ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) 1,089,639円、ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用) 1,215,141,541円、ダイワ/パリュ・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス9,976円、通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型) 159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型) 159,141円、オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース) 9,963円、オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース) 9,963円、オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース) 9,963円、NYダウ・トリプル・レバレッジ209,466,367円、世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型) 998円、世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型) 998円、FANG+プルベア・マネーポートフォリオ992,420円、AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用) 6,417,784,873円、ダイワユーロベア・ファンド2 (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用) 9,837,126,024円、ダイワユーロベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用) 29,412,815,332円、ダイワ米ドルベア・ファンド (2倍、非リバランス型) (適格機関投資家専用) 1,582,648,295円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド2,417,017円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型) 998円、ダイワTOPIXベア・ファンド (適格機関投資家専用) 5,141,916,506円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型) 9,949円、ダイワ米国内債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USTライアンブル - 997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 - 173,802円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,024円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 28,774,653円
受取利息	1,464,675
支払利息	△ 30,239,328
(B) その他費用	△ 1,598,733
(C) 当期損益金(A + B)	△ 30,373,386
(D) 前期繰越損益金	112,547,273
(E) 解約差損益金	△154,205,994
(F) 追加信託差損益金	250,878,543
(G) 合計(C + D + E + F)	178,846,436
次期繰越損益金(G)	178,846,436

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。